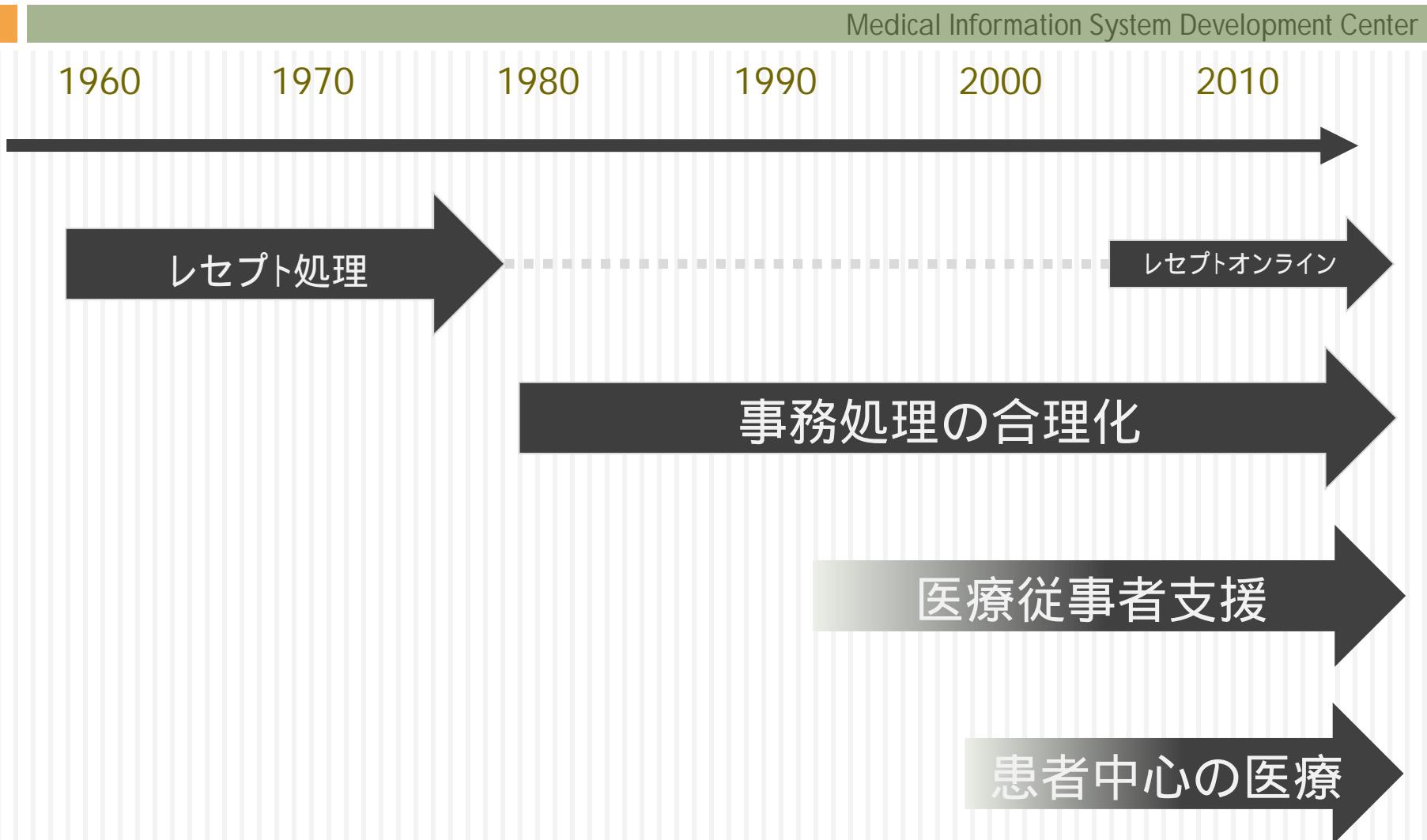


医療分野でのポータビリティ確保の取り組み

規制改革推進会議
医療・介護ワーキング・グループ
平成30年7月3日

一般財団法人医療情報システム開発センター
自治医科大学
山本隆一

医療IT化の目的

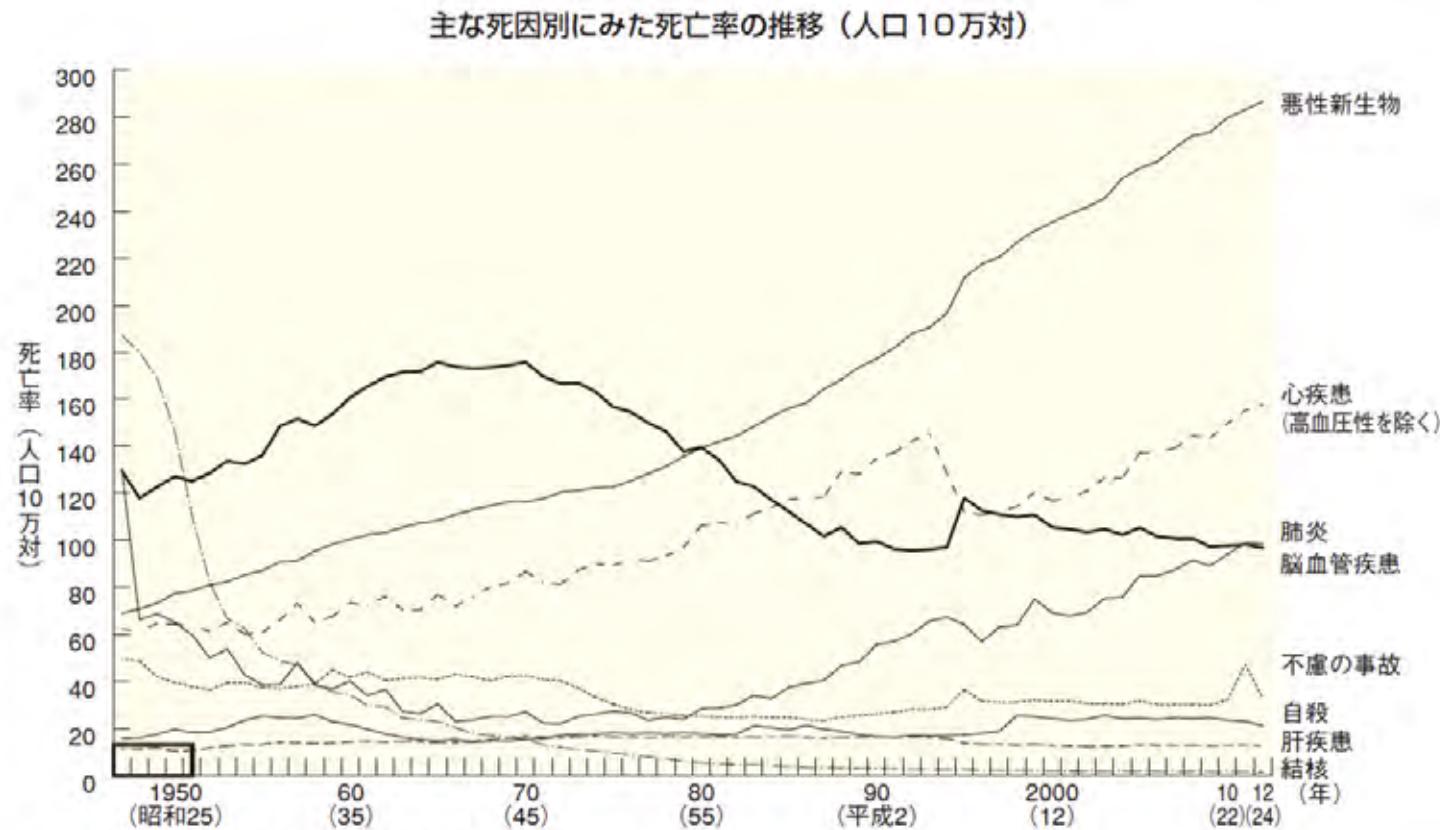


1947年の日本:

平均余命(0歳) 男50.0年 女54.0年 [2015年 男80.6年 女87.0年]

死因 結核、肺炎、胃腸炎、脳卒中、老衰

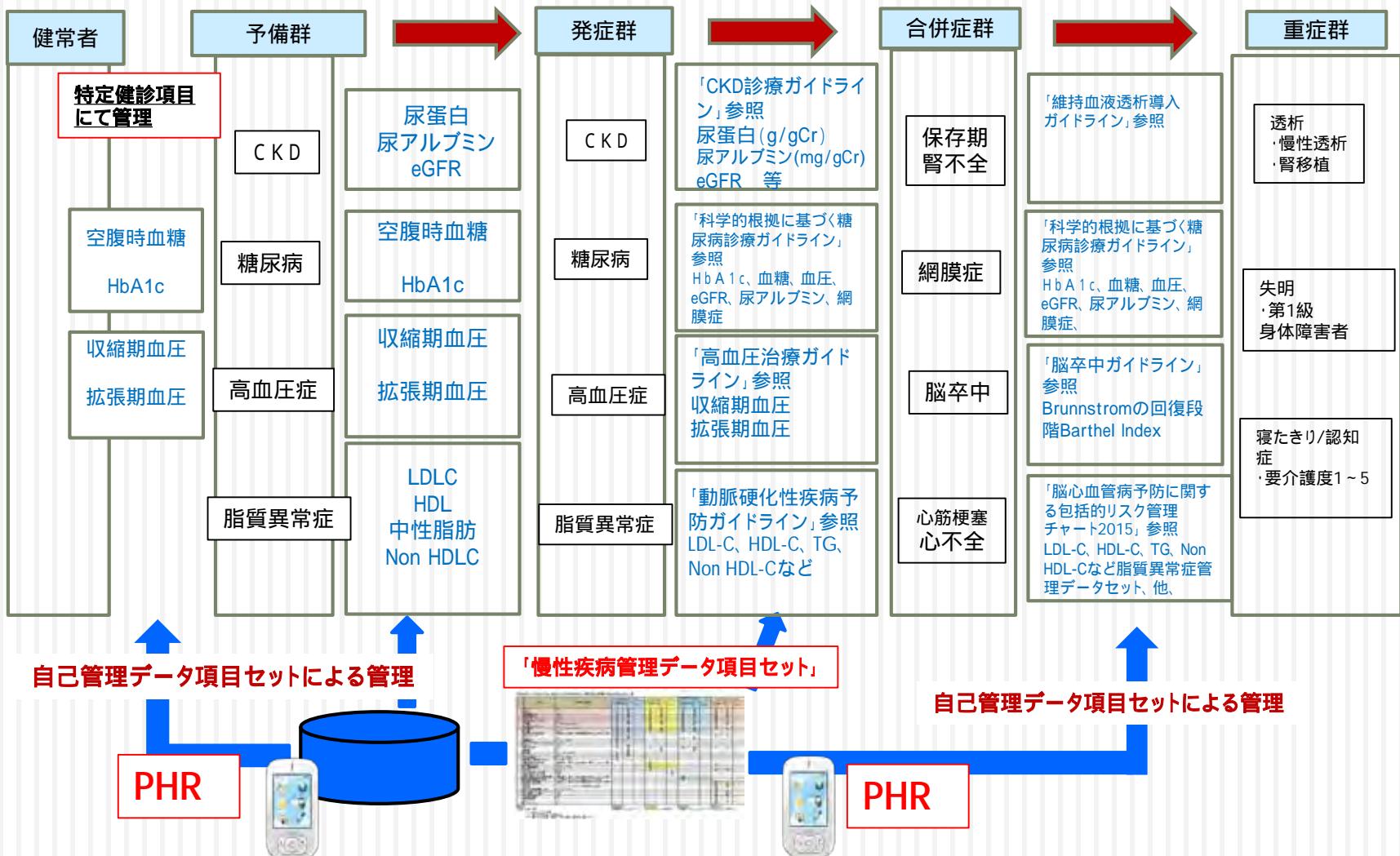
血液検査はわずか数項目でいずれも用手検査、X線撮影は単純撮影だけ



資料：厚生労働省大臣官房統計情報部「人口動態統計」

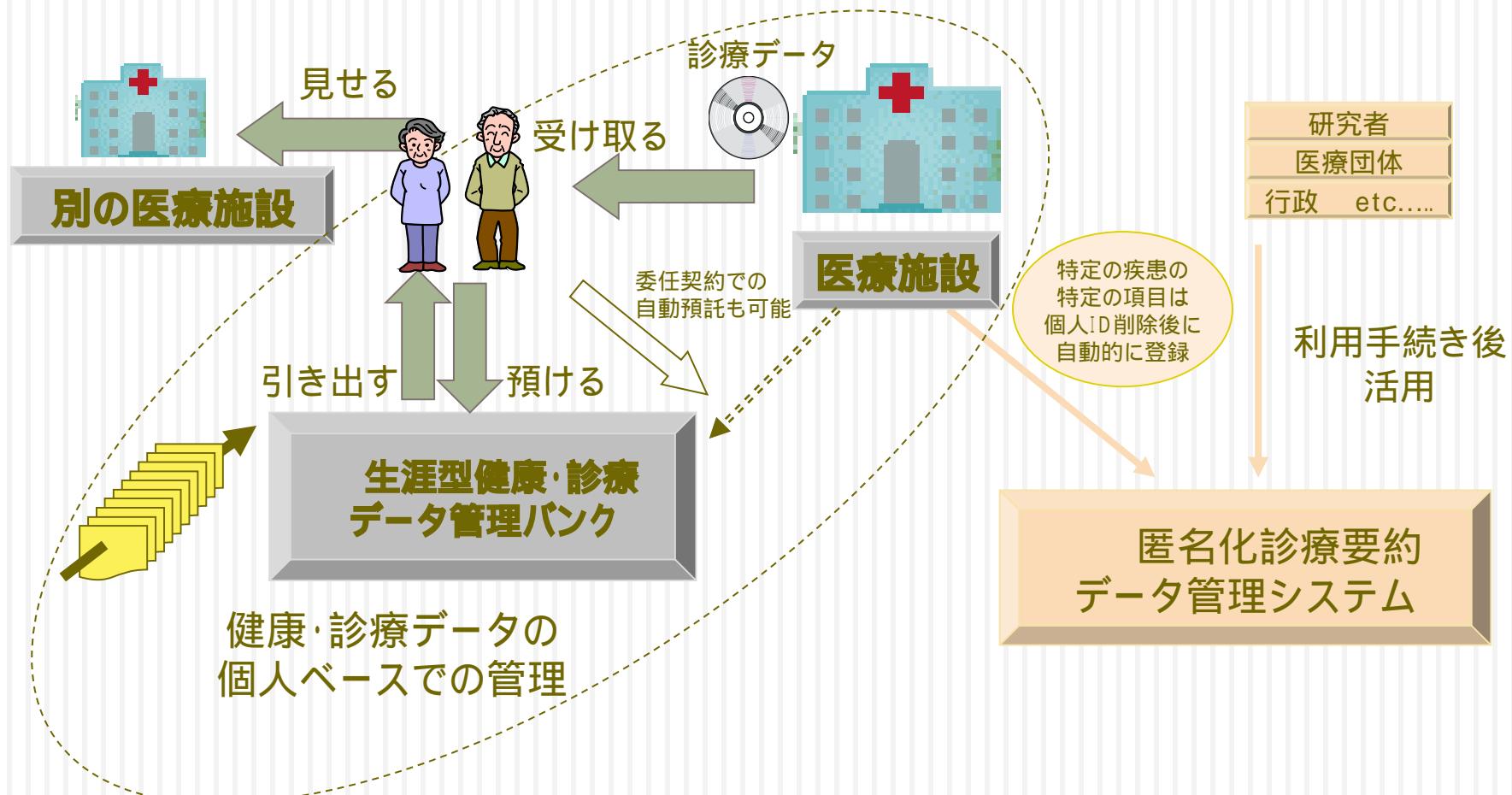
(注) 1. 死因分類等の改正により、死因の内容に完全な一致をみることはできない。
2. 2012（平成24）は概数である。

疾患進行の各ステップに効果的・効率的に介入し、重症化予防を実現

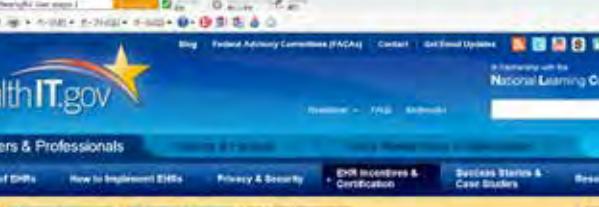


・2014年度内閣官房「医療・介護・健康分野のデジタル基盤」構築基礎調査事業

Personal Health Records (PHR)



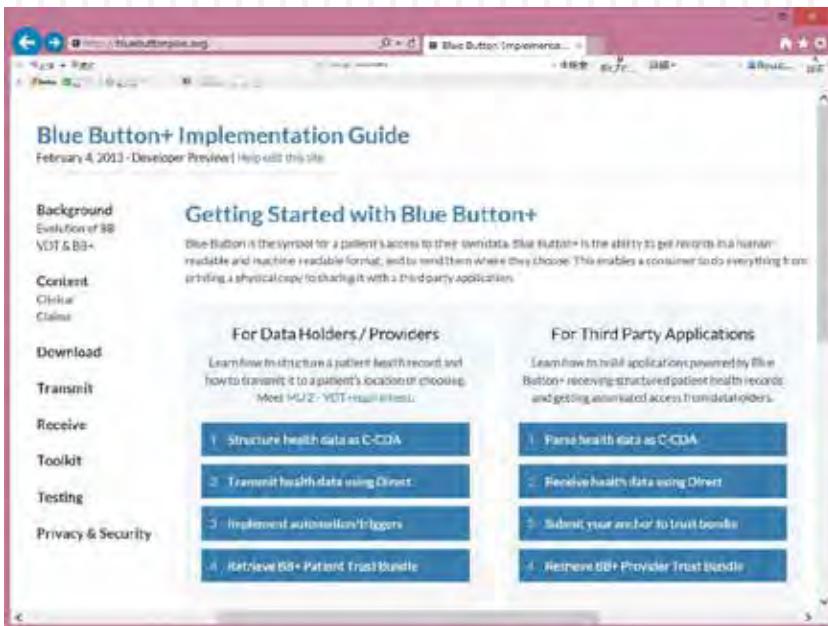
診療のための生涯型健康・診療データ管理バンク および施策
活用のための匿名化診療要約データ管理システム (2006 Oct.)



The screenshot shows the HealthIT.gov homepage with a blue header. The header includes the HealthIT.gov logo, a search bar, and links for 'Blog', 'Federal Advisory Committees (FACs)', 'Contact', and 'Get Email Updates'. A banner for 'a learning with the National Learning Consortium' is visible. The main navigation bar has categories: 'Providers & Professionals', 'Benefits of EHRs', 'How to Implement EHRs', 'Privacy & Security', 'EHR Incentives & Certification' (which is the active page), 'Success Stories & Case Studies', and 'Resource Center'. The main content area features a large yellow banner with the text 'EHR Incentives & Certification'. Below this, there are sections for 'Meaningful Use Definitions & Goals', 'How to Attain Meaningful Use', 'Certification Process for EHR Technologies', 'EHR Incentive Programs', and 'How to Attain Meaningful Use Criteria'. A summary of Meaningful Use Criteria and Objectives is also present.

Stage 1: 2011-2012 Data capture and sharing	Stage 2: 2014 Advance clinical processes	Stage 3: 2016 Improved outcomes
Electronically capturing health information in a standardized format	More rigorous health information exchange (HIE)	Improving quality, safety, and efficiency, leading to improved health outcomes
Using that information to track key clinical conditions	Increased requirements for e-prescribing and incorporating lab results	Decision support for national high-priority conditions
Communicating that information for care coordination processes	Electronic transmission of patient care summaries across multiple settings	Patient access to self-management tools
Initiating the reporting of clinical quality measures and public health information	More patient-controlled data	Access to comprehensive patient data through patient-centered HIE
Using information to engage patients and their families in their care		Improving population health

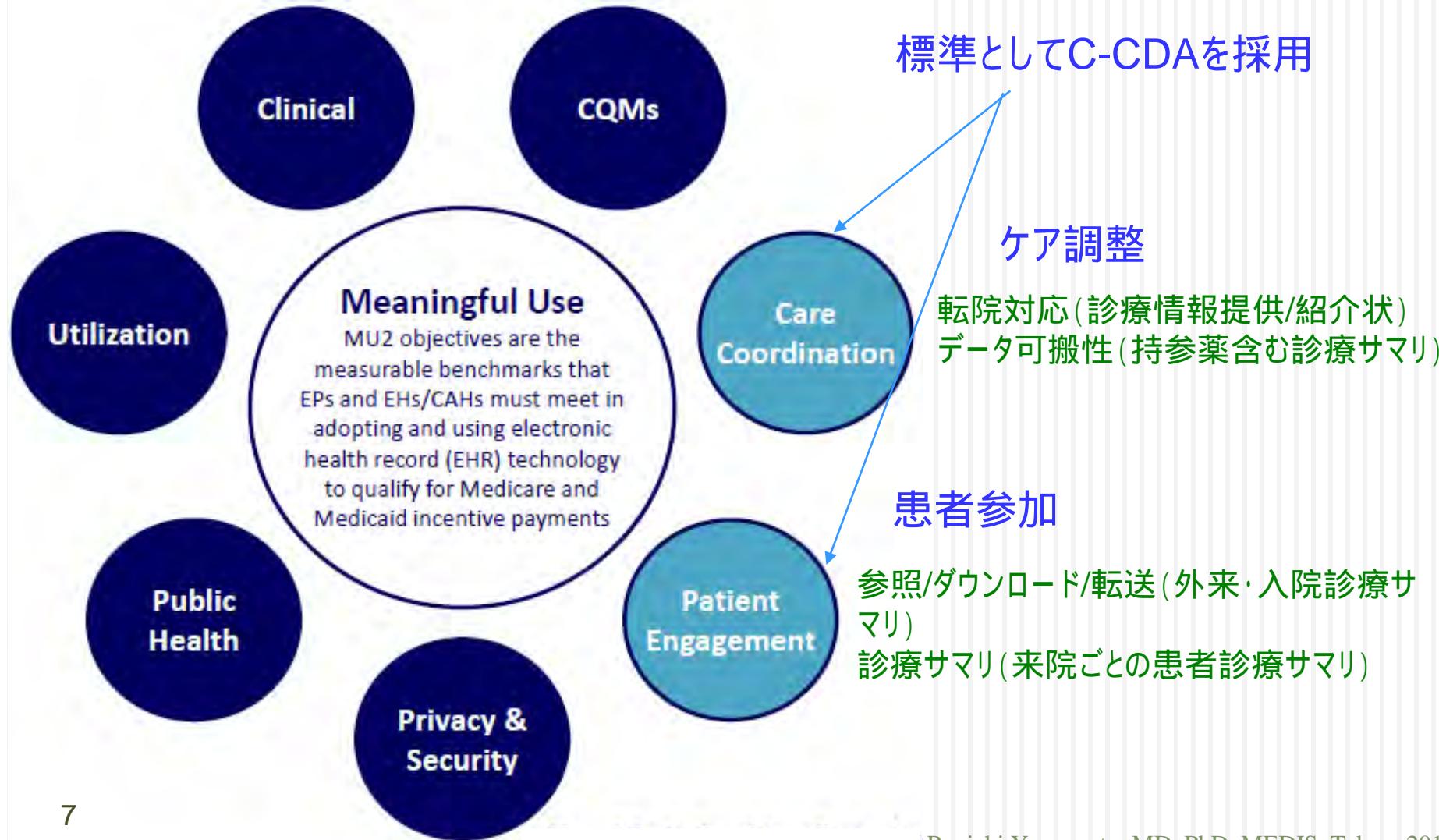
2011-2016のインセンティブ総額345億ドル



2010年にVAのPHRプロジェクトとして始まり、現在はMy Data Initiativeの一環
2013年からBlue Button+としてMeaningful Use of EHRと一体化。1億5千万人が利用

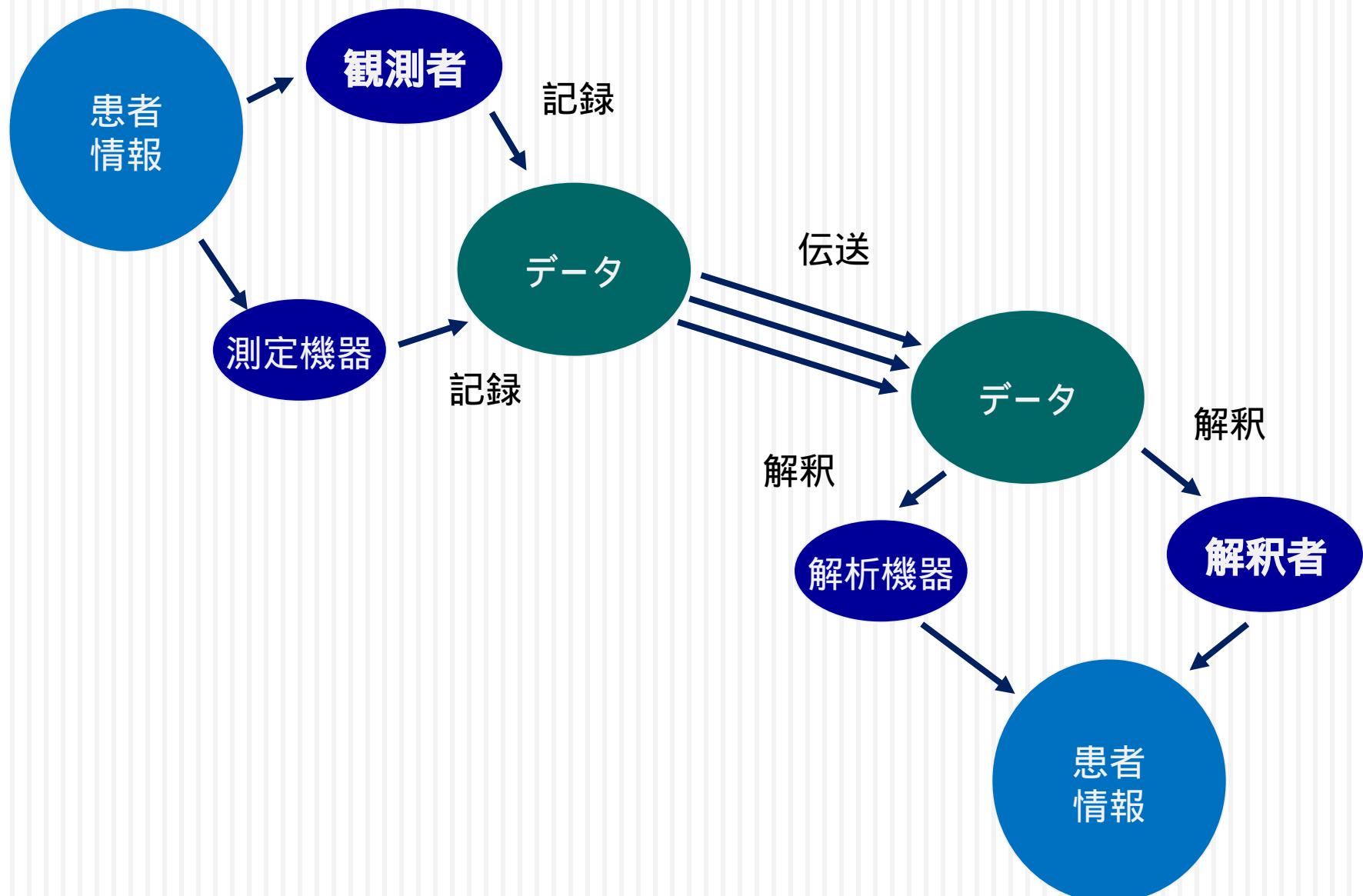
米国Meaningful Useステージ2におけるC-CDA

Medical Information System Development Center

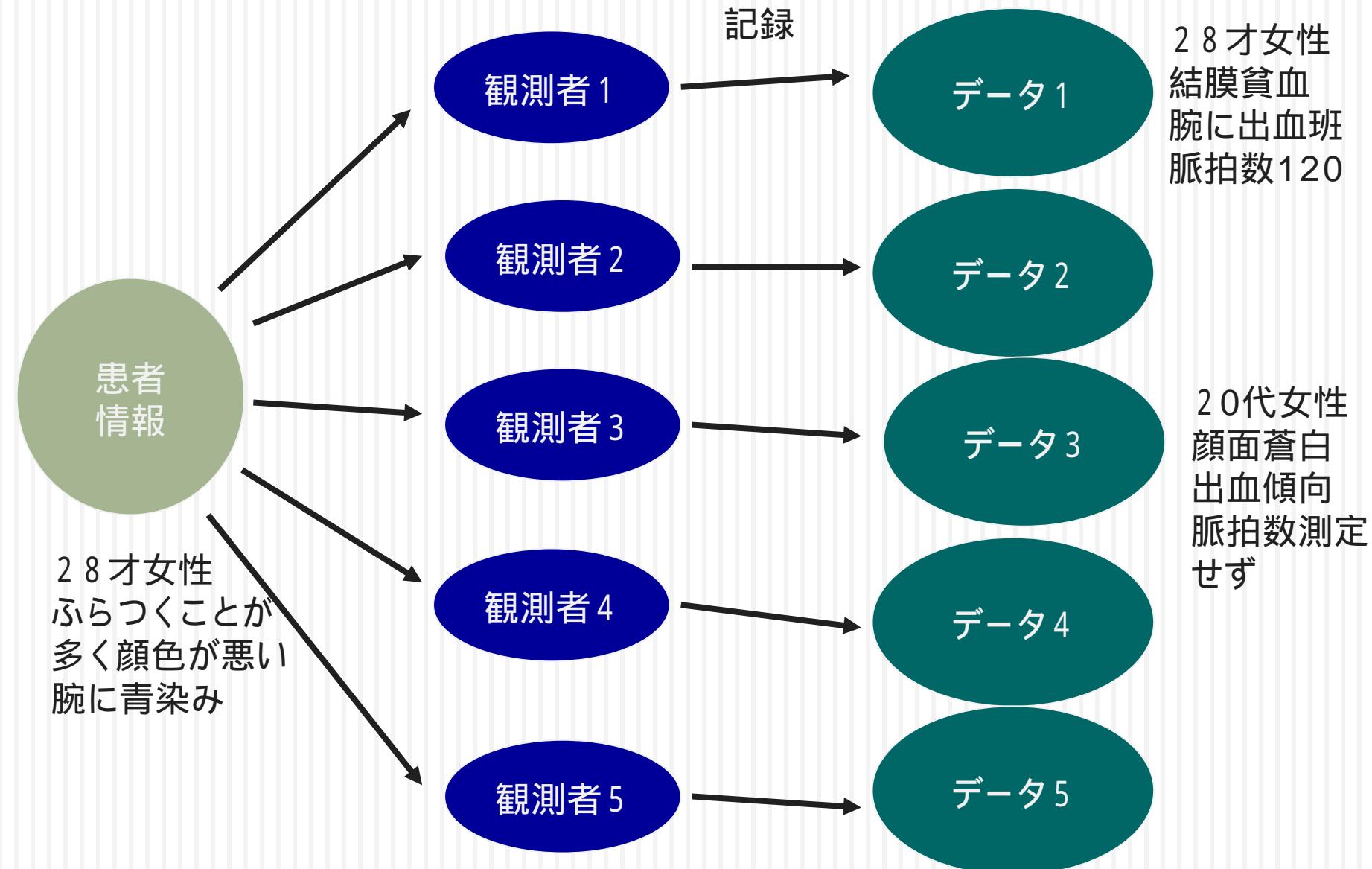


情報からデータ

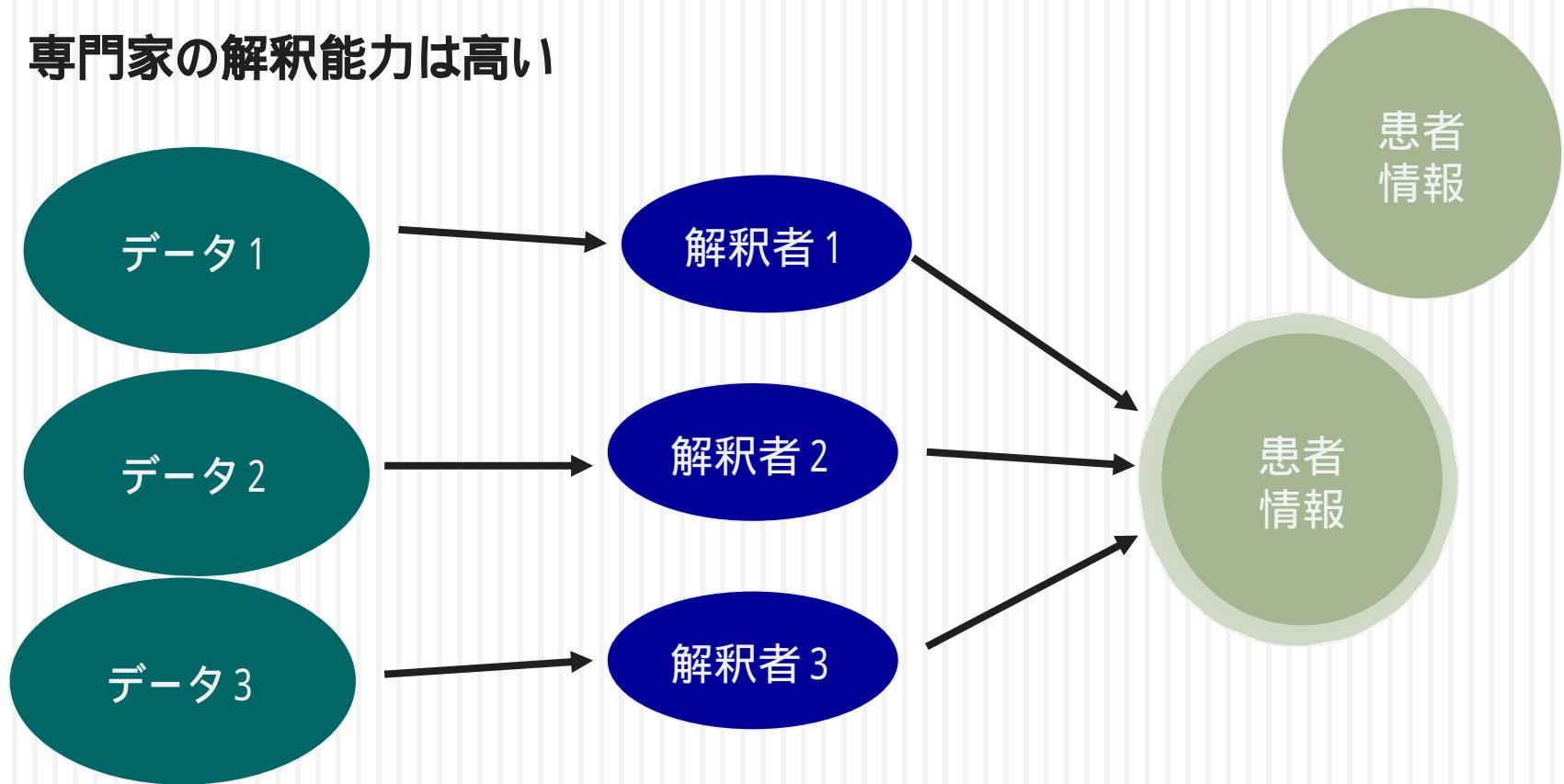
データから情報



情報からデータへの変換する時のはらつき



専門家の解釈能力は高い



一医療機関での診療においては値の差がわかれれば適切な診療は可能。

従来型の医療ではポータビリティを確保するインセンティブがない。



Pieter Bruegel : The Tower of Babel (1563)

Portability? Interoperability?

Medical Information System Development Center

目的の共有

- 神の国に届く塔を作る
- A 氏の糖尿病をコントロールする

手段のPortability

- 階層構造を基本に下から積み上げ方式で作る
- 糖尿病ガイドライン、糖尿病連携パス

情報伝送手段のPortability

- 連絡担当を決め、定期的に会合を持つ
- 全体をHL7 ver.3 CDA準拠の文書に、処方、検査結果はHL7 ver.2.5

用語のPortability

- 連絡はエスペランド語を使う
- 薬品コードはHOT9、病名は標準病名マスター、検査はJLAC11

概念のPortability

- 石材とは何か、すきまなく積むとはどうすることか
- 肥満とは？ 理想体重とは？

コンテンツのPortability

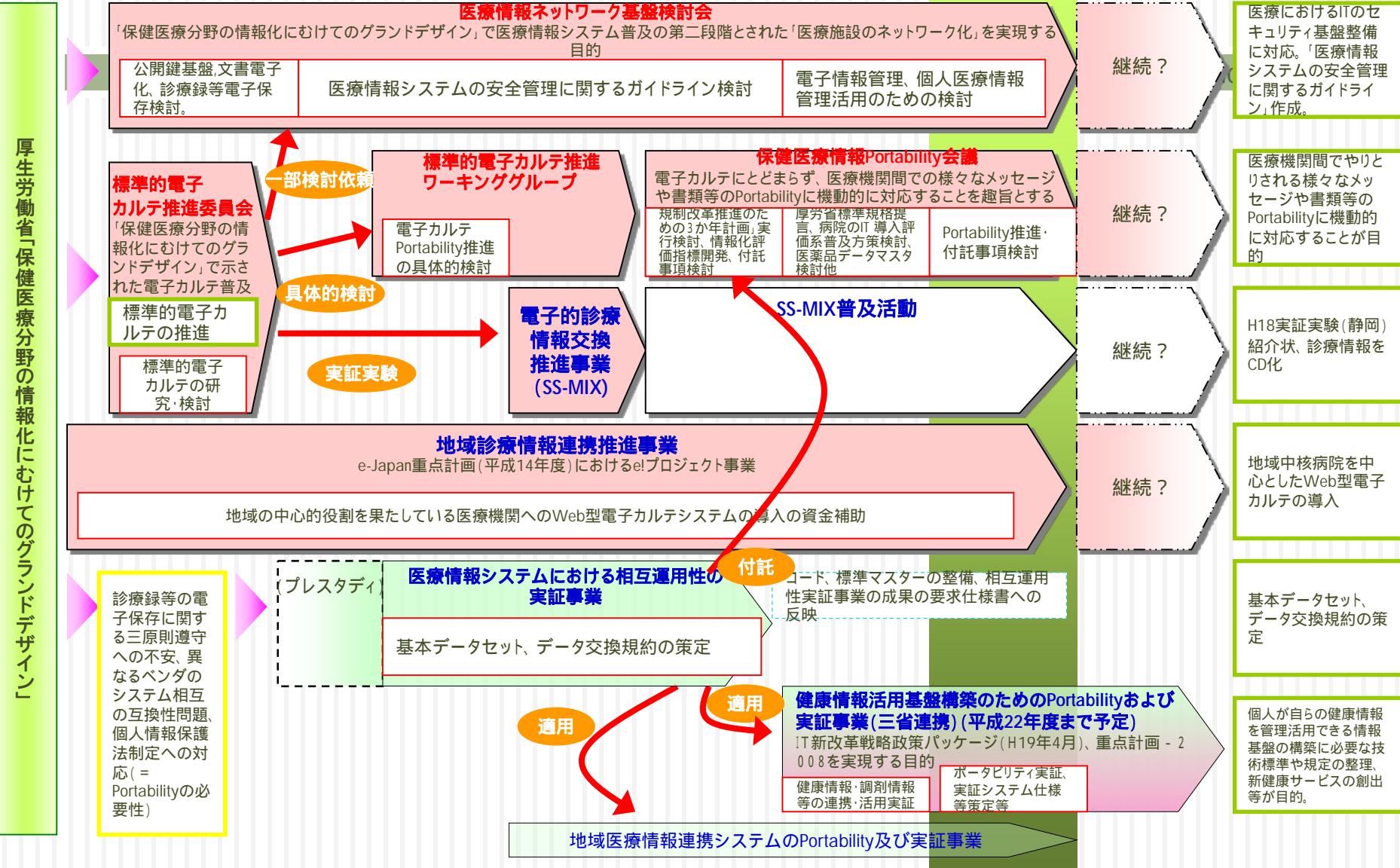
- A国の石は硬くて加工が難しいが丈夫。B国の石は砂岩で加工がしやすいが弱い。
- 家庭用血圧計と健診機関、医療機関での血圧計の精度管理

地域医療・医療情報Portability -取組まれている施策(医療情報基盤整備・Portability)-

総務省
厚生労働省
経済産業省

平成13年度 平成15年度 平成16年度 平成17年度 平成18年度 平成19年度 平成20年度 平成21年度 平成22年度以降

内容



Ryuichi

MEDIS 標準マスター紹介サイト

www.medis.or.jp/4_hyojyuu/midis-master/index.html

TOP 概要 Q & A 用語集

MEDIS 標準マスター

(一財)医療情報システム開発センターの標準マスター 紹介サイト

MEDIS標準マスター・インデックス MEDIS Master Index

MEDIS-DCが提供する10分野の標準マスター紹介サイトです

ご利用になる前にお読みください

医薬品HOTコードマスター

病名マスター (ICD10対応標準病名マスター) new
(2018.06.01更新)

歯科病名マスター new
(2018.06.01更新)

標準歯式コード仕様 new
(2018.4.24更新)

臨床検査マスター (生理機能検査を含む)
(2018.05.10更新)

手術・処置マスター new
(2018.04.02更新)

歯科手術・処置マスター
(2011.12.02更新)

看護実践用語標準マスター
・看護行為版 (2017.12.08更新)
・看護対応版 (2017.12.08更新)

医療機器データベース

症状所見マスター <身体所見編>
(2014.03.06更新)

画像検査マスター

J-MIX (電子保存された診療録情報の交換のためのデータ項目セット)

【資料ご案内】

標準マスターの概要と使い方
第16版 (平成29年7月発行)

お申込みは→こちら

Copyright(C) 2005-2006, Medical Information System Development Center. All Rights Reserved.

新規登録 | 一般社団法人 JAHIS | https://www.jahis.jp/standard/contents_type=33

保護された通信

Google ドクターメール(ブラウザ) ブックマーク ログイン(ログイン) ログアウト(ログアウト) ログイン(ログイン) DRAFT NEW SPEC 特許情報ポータル サポートサイト

JAHISについて 活動と報告 部会情報 JAHIS標準 教育・セミナー事業 会員向けページ

トップ > JAHIS標準 > 制定済標準

~JAHIS標準 JAHIS技術文書

JAHIS標準

JAHISで作成し、制定した標準を紹介しております。

※注意事項

- 掲載されたものは既に改定された標準版ですので、最新版を閲覧してください。
(旧版を参照しているシステムのために、現在も閲覧可能としています。)
- 技術文書の中には技術動向の紹介目的で作成したものも存在します。
各技術文書の制定目的をご理解の上ご利用ください。

制定済み標準一覧

ID	内容	制定年月
18-001	JAHIS HPK3対応ICカードガイドラインVer.3.0 NEW	制定2018年05月
17-009	JAHIS放射データ交換規約Ver.2.1C	制定2018年01月
17-008	JAHIS保存力/義務付けられた診療取扱い電子保存ガイドラインVer.3.0	制定2017年12月
17-007	JAHIS地域医療連携における記録記憶構造化記述規約Ver.1.0	制定2017年08月
17-006	JAHIS「製造業者による医療情報セキュリティ簡示書」ガイドラインVer.3.0a 改定2017年11月 正誤表2018年01月	制定2017年07月
17-005	JAHIS統合データ交換規約Ver.3.0C	制定2017年07月
17-004	ヘルスケアPKIを利用して医療文書に対する電子署名規格PAJES規約Ver.1.0	制定2017年07月
17-003	JAHIS放射線治療データ交換規約Ver.1.1C	制定2017年05月
17-002	JAHIS放射線データ交換規約Ver.3.1C	制定2017年04月
17-001	JAHIS内視鏡データ交換規約Ver.3.1C	制定2017年04月
16-005	JAHIS生理検査データ交換規約Ver.3.0C	制定2016年12月
16-004	JAHIS臨床検査データ交換規約Ver.4.0C	制定2016年07月
16-003	リモートサービスセキュリティガイドラインVer.3.0	制定2016年06月

入会案内

各種届出書式

教育事業

ID/PASSページ

JAHIS 教育コース
2018ご案内

医療情報
システム入門

一般社団法人
ヘルスソフトウェア推進協議会

HIMSS AsiaPac18
11 November 2018
Singapore Convention & Exhibition Centre, Singapore

国際モダンホスピタリティショウ2018
7/11-12/13 神奈川県横浜市

医療IT EXPO 東京
2018/9/12 (水) ~ 14 (金) 高橋メッセ

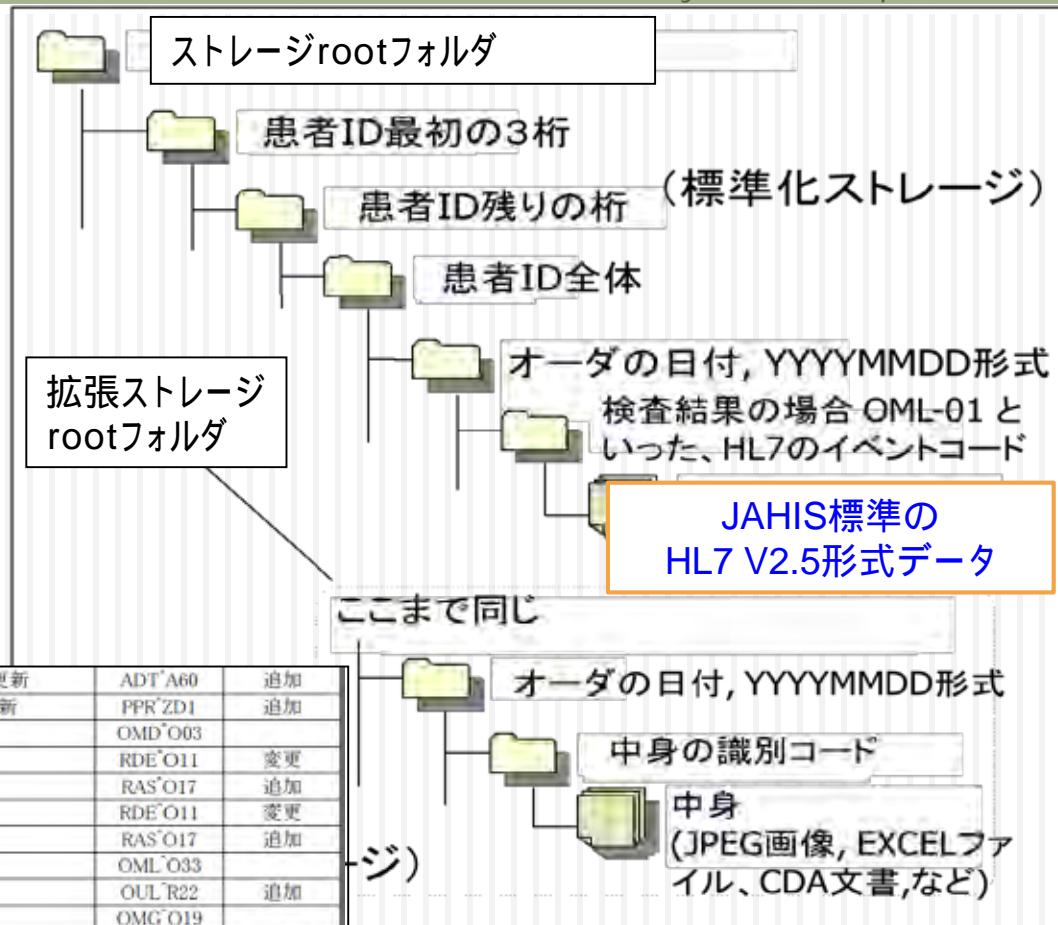
SS-MIX2標準化ストレージ

Medical Information System Development Center

- ディレクトリ構造は患者ID（3階層）、診療日、データ種別
- ファイル形式はHL7 V2.5で各種JAHIS標準やHOT,JLAC10,標準病名等の標準コードを採用
- データ種別

No	データ種別	名称	HL7 メッセージ型	備考
1	ADT-00	患者基本情報の更新	ADT^A08	
2	ADT-00	患者基本情報の削除	ADT^A23	
3	ADT-01	担当医の変更	ADT^A54	
4	ADT-01	担当医の取消	ADT^A55	
5	ADT-12	外来診察の受付	ADT^A04	
6	ADT-21	入院予定	ADT^A14	
7	ADT-21	入院予定の取消	ADT^A27	
8	ADT-22	入院実施	ADT^A01	
9	ADT-22	入院実施の取消		

10	ADT-31	外出泊実施	22	ADT-61	アレルギー情報の登録／更新	ADT^A60	追加
11	ADT-31	外出泊実施の取消	23	PPR-01	病名(歴)情報の登録／更新	PPR^ZD1	追加
12	ADT-32	外出泊帰院実施	24	OMD	食事オーダー	OMD^O03	
13	ADT-32	外出泊帰院実施の取消	25	OMP-01	処方オーダー	RDE^O11	変更
14	ADT-41	転科・転棟(転室・転床)	26	OMP-11	処方実施通知	RAS^O17	追加
15	ADT-41	転科・転棟(転室・転床)	27	OMP-02	注射オーダー	RDE^O11	変更
16	ADT-42	転科・転棟(転室・転床)	28	OMP-12	注射実施通知	RAS^O17	追加
17	ADT-42	転科・転棟(転室・転床)	29	OML-01	検体検査オーダー	OML^O33	
18	ADT-51	退院予定	30	OML-11	検体検査結果通知	OUL^R22	追加
19	ADT-51	退院予定の取消	31	OMG-01	放射線検査オーダー	OMG^O19	
20	ADT-52	退院実施	32	OMG-11	放射線検査の実施通知	OMI^Z23	追加
21	ADT-52	退院実施の取消	33	OMG-02	内視鏡検査オーダー	OMG^O19	追加
			34	OMG-12	内視鏡検査の実施通知	OMI^Z23	追加
			35	OMG-03	生理検査オーダー	OMG^O19	追加
			36	OMG-13	生理検査結果通知	ORU^R01	追加





明日の医療を拓く”医療情報の標準化”

HELICS協議会は医療情報の標準化を推進します！

お知らせ

2017-12-21 第37回医療情報学連合大会においてHELICSチュートリアルを開催致しました。

日 時：2017年11月20日（月）13：15～17：30
場 所：グランキューブ大阪（大阪国際会議場）B会場
テーマ：HELTICS協議会に求められる標準化活動
プログラムと各連者の資料はここでから取得頂けます。

2018-04-25 第22回日本医療情報学会春季学術大会において、HELICSチュートリアルを下記の要領で開催致します。

日 時：2018年6月21日（木）15:15～16:45
場 所：第2会場（新潟コンベンションセンター2階・中会議室201）
プログラム
第1部 HELICS協議会の活動状況

Contents

- ▶ トップページ
 - ▶ 会長あいさつ
 - ▶ HELICS協議会とは
医療情報の標準化とは
 - ▶ 医療情報標準化指針一覧表
 - ▶ 厚生労働省標準規格について
厚生労働省通知
 - ▶ 正会員・理事等名簿
 - ▶ 会則・規則等
 - ▶ 入会のご案内
 - ▶ 標準規格・レポート等の申請
 - ▶ 過去のイベント
 - ▶ 会議録・計画書・報告書
 - ▶ パブリックコメントに寄せられた
意見等
 - ▶ 関連リンク集
 - ▶ お問い合わせ

医療分野の情報化の推進 × Ryuichi

① www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/iryou/johoka/index.html

☆ IE フックマーク ログイン | ジョブカル W ロリポップ！レンタルリ F1 フ1への入り口、F1-G その他のフックマーク

医療情報の標準化

医療機関の内部や異なる医療機関の間において、医療情報を電子的に活用する場合、必要な情報がいつでも利用可能となるよう、医療情報システムを標準的な形式のメッセージや標準とされるコード（以下、標準規格）を用いて設計することが必要となります。

そのため、厚生労働省では、保健医療分野において必要な標準規格を厚生労働標準規格として認め、普及を図っています。

厚生労働省標準規格は、厚生労働省のみで決定するのではなく、標準化活動を行う学会や民間の規格制定団体が参画する「協議会」において選定された規格を、厚生労働省の「保健医療情報標準化会議」にて議論し採択しており、産官学協力しつつ決定しています。

厚生労働省標準規格

- HS001 医薬品HOTコードマスター
- HS005 ICD10対応標準病名マスター
- HS007 患者診療情報提供書及び電子診療データ提供書（患者への情報提供）
- HS008 診療情報提供書（電子紹介状）
- HS009 IHE統合プロファイル「可搬型医用画像」およびその運用指針
- HS011 医療におけるデジタル画像と通信（DICOM）
- HS012 JAHIS臨床検査データ交換規約
- HS013 標準歯科病名マスター
- HS014 臨床検査マスター
- HS016 JAHIS 放射線データ交換規約
- HS017 HIS,RIS,PACS,モダリティ間予約,会計,照射録情報連携指針（JJ1017指針）
- HS022 JAHIS 放射線データ交換規約
- HS024 看護実践用語標準マスター
- HS028 SS-MIX2ストレージ仕様書および構築ガイドライン
- HS027 処方・注射オーダ標準用法規格
- HS028 ISO 22077-1:2015 保健医療情報－医用波形フォーマット－パート1：符号化規則
- HS031 地域医療連携における情報連携基盤技術仕様

IHE-J 2017 コネクタソン結果一覧

4114746433

各社主アカウント・アカウントごとに、専用のアカウントを登録し、アカウント登録後に、専用アカウントでログインして下さい。

- 日 3月チラシ「カルフレーム」(クリエイティブ企画室)を発行する「EAT」の「アートアンドデザイン」。各社の新規開拓部門から新規開拓部に「EAT」は、また、その新規開拓部が新規開拓部に「アートアンドデザイン」。

件名の欄に「データに、高村の誕生日言葉へ」がコメントが書かれていました。

• 11 •

本結果表は、2017年度に実施した下記の日本クリーンの協議や示したものです。

□ 2017年12月10日月曜日 10時-12時□承認印(角型)

ヨネのタバンへの言説を並べて記述した下記の論述に従事してみよう。

平凡世界

中華書局影印

（参见前引“台日关系与日本对华政策”）

新訳元日文解説ノルマニス

〔ディスク工場〕

IHE-J 2017 コネクタソン結果一覧

部門	放射線検査												循環器分野		
	統合プロファイル	ARI	CR	IRWF	KIN	MAMMO	PDI	PIR	REM	SWF	CATH	ECG	ECHO	IVI	
参加ベンダ (アイウオ順)	アクト (オブジェクト)	Image Display Image Manager/Archive Order/Print/Cancel	Image Display Image Manager/Archive Order/Print/Cancel	Image Display Image Manager/Archive Acquisition Modality	Image Manager/Archive Import (Scheduled) C (Unscheduled)	Order Filler Patient Demographic Supplier	Image Display Evidence Creator	Image Display Image Manager/Archive Acquisition Modality	Image Display Order Filler	Image Display Portable Media Creator L (Web Content)	Image Display Order Filler Patient Registration	Image Display Order Filler	Image Display Order Filler Patient Registration	Image Display Order Filler Patient Registration	
(株)アイ・エス・ビ	●									●					
アイテック阪急阪神(株)															
アイホン(株)															
アレイ(株)	●			●	●										
(株)インフィニットテクノロジ	●														
(株)エイアンドティ	●														
(株)SBS/情報システム	●														
キッセイニムテック(株)		●													
キヤノン(株)															
QST・放射線医学総合研究所															
(株)ケアーム															
ニーカミノルタ(株)															
ニーカミノルタ・メディカルソリューションズ(株)	●	●	●	●	●										
(株)リバーリンクス															
GEヘルスケア・ジャパン(株)															
(株)シーエスアイ															
(株)シェイマックスシステム	●	●	●	●	●										
(株)システムインフロンティア															
(株)システム計画研究所															

Portabilityの二面性

Medical Information System Development Center

- Portabilityは自由な競争を促進する。
- Portabilityは情報の利用性を向上させる。
- Portabilityは個人の権利保護に重要
- Portabilityはイノベーションを制約する可能性がある。
- Portabilityは継続的な保守が必要
保守されない標準は弊害が大きい

何に対してどこまでPortabilityを要求するか？